

執筆 者 一 覧

(所属と立場は2021年4月現在)

大友一雄 (おおとも かずお)

人間文化研究機構国文学研究資料館 名誉教授

『日本近世国家の権威と儀礼』(吉川弘文館、1999年)、「バチカン図書館所蔵豊後キリシタン史料群とマリオ・マレガ神父」(『歴史と地理：日本史の研究』第682号、山川出版社、2015年)、『バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ資料—概要と紹介—』(三野行徳共編、マレガ・プロジェクト、2021年) など

太田尚宏 (おおた なおひろ)

国文学研究資料館研究部 准教授

『幕府代官伊奈氏と江戸周辺地域』(岩田書院、2010年)、「真田家文書〈家老日記〉の種類と性格」(『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第10号、2014年)、『マリオ・マレガ資料を読む(英語版)』(バチカン図書館、2022年刊行予定) など

青木 睦 (あおき むつみ)

国文学研究資料館研究部 准教授

『被災資料救助から考える資料保存—東日本大震災後の釜石市での文書レスキューを中心に—』(共同保存図書館・多摩、2013年)、「日本歴史資料の保存理論と実践」(マレガ・プロジェクト編『マレガプロジェクト・ワークショップ1 バチカン図書館所蔵マレガ文書の保存と修復—技術の交流と創発—』、2016年)、『*Preservation and conservation of Japanese archival documents. The Marega Collection in the Vatican Library*』(co-edited with Ángela Núñez Gaitán, Biblioteca Apostolica Vaticana, Città del Vaticano, 2019) など

シルヴィオ・ヴィータ (Silvio Vita)

京都外国語大学外国語学部 教授

「豊後キリシタンの跡をたどるマリオ・マレガ神父—マレガ文書群の成立過程とその背景—」(『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第12号、2016年)、「マリオ・マレガの執筆活動とその『文脈』」(『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第14号、2017年)、「ファシズム時代のイタリア語訳『古事記』とその背景

—「日本の聖書」について—（平藤喜久子編著『ファシズムと聖なるもの／古代的なるもの』北海道大学出版会、2020年）など

大津祐司（おおつ ゆうじ）

大分県立先哲史料館 元館長

『豊後キリスト教史』（大分県立先哲史料館展示図録、2001年）、「豊後国大野郡野津院下藤村の村落構造 —指導者リアンとキリシタン墓地—」（大分県立先哲史料館『史料館研究紀要』第19号、2015年）、「大友宗麟・義統」（五野井隆史監修『キリシタン大名 —布教・政策・信仰の実相—』宮帯出版社、2017年）など

大橋幸泰（おおはし ゆきひろ）

早稲田大学教育・総合科学学術院 教授

『検証 島原天草一揆』（吉川弘文館、2008年）、『潜伏キリシタン —江戸時代の禁教政策と民衆—』（講談社、2014年）、『近世潜伏宗教論 —キリシタンと隠し念仏—』（校倉書房、2017年）など

櫻井成昭（さくらい なりあき）

大分県教育庁文化課

『六郷山と田染荘遺跡』（同成社、2005年）、「善光寺地震と豊後国日田 —災害情報の伝達と蓄積—」（『歴史地震』第29号、2014年）、「豊前のキリシタン」（大分県立先哲史料館編『史料館研究紀要』第21号、2016年）など

佐藤晃洋（さとう あきひろ）

竹田市歴史文化館・由学館 館長

「マレガ文書にみる臼杵藩キリシタン禁制政策開始期の文書」（『東京大学史料編纂所研究紀要』第26号、2016年）、「臼杵藩におけるキリシタン禁制政策確立後の文書」（『大分県地方史』第227号、2016年）、「解説 唐橋君山と岡藩における『豊後国志』編纂事業」（太田由佳訳・松田清注『訓読 豊後国志』思文閣出版、2018年）など

清水有子（しみず ゆうこ）

明治大学文学部 准教授

『近世日本とルソン —「鎖国」形成史再考—』（東京堂出版、2012年）、「豊臣秀吉政権の神国宣言 —伴天連追放令の基本的性格と秀吉の宗教政策を踏まえて—」（『歴史学研究』第958号、2017年）、「キリシタン禁制史の研究状況と課題」（川村信三編『キリシタン歴史探求の現在と未来』教文館、2021年）など

高見 純 (たかみ じゅん)

拓殖大学政経学部 准教授

「15世紀前半期ヴェネツィアにおける大兄弟会の貧困救済」(『社会経済史学』第83巻、第2号、2017年)、*La Contabilità della Scuola Grande di San Marco nel tardo Medioevo a Venezia (Mediterranean World, 23, 2017)*、「中近世ヴェネツィアにおける宗教兄弟会のアーカイブズ管理」(『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第16号、2020年) など

田中裕介 (たなか ゆうすけ)

別府大学文学部 教授

「豊後キリシタン遺跡の研究史 戦前編」(『大分県地方史』227号、2016年)、『下藤地区キリシタン墓地』(臼杵市教育委員会・共著、2016年)、「日本におけるキリシタン墓地の類型とイエズス会の適応政策」(狭川真一さん還暦記念会編『論集 葬送・墓・石塔 狭川真一さん還暦記念論文集』、2019年) など

アンヘラ・ヌーニェス＝ガイタン (Ángela Núñez Gaitán)

バチカン図書館保存修復部門 室長

「マレガ・プロジェクトにおける日本の古文書の調査方法について」(マレガ・プロジェクト編『マレガプロジェクト・ワークショップ1 バチカン図書館所蔵マレガ文書の保存と修復 一技術の交流と創発一』、2016年)、「Il Progetto Marega in Biblioteca Vaticana, Esperienza di Intesa e Collaborazione」(マレガ・プロジェクト編『2017年度東芝国際交流財団助成報告書』、2018年)、*Preservation and conservation of Japanese archival documents. The Marega Collection in the Vatican Library*, (co-edited with Mutsumi Aoki, Biblioteca Apostolica Vaticana, Città del Vaticano, 2019) など

平井義人 (ひらい よしと)

日出町歴史資料館・帆船萬里記念館 館長

「地域災害史の検証と必要となる史料の姿」(国文学研究資料館編『社会変容と民間アーカイブズ』勉誠出版、2017年)、「庄屋宛書簡にあらわれる村落生活の諸相」(高橋啓先生退官記念論集『地域社会史への試み』原田印刷出版、2004年)、「岡藩の江戸屋敷」(『竹田市誌』第1巻、2009年) など

デリオ・ヴァニア・プロヴェルビオ (Delio Vania Proverbio)

バチカン図書館写本部門 主任研究員

La Recensione Etiopica Dell'omelia Pseudochrisostomica de Ficu Exarata Ed Il Suo Tréfonds Orientale, (Harrassowitz Verlag, Wiesbaden, 1998); I “Füyûzât-ı Mıknâtısiyye” di İbrahim Müteferrika: per una revisione delle fonti [A revised examination of the European sources of İbrahim Müteferrika's Füyûzât-ı Mıknâtısiyye], (*Turcica Vaticana*, 2010); ‘İsâ the Prophet: some Turkish anecdotes not found in the Arabic tradition. Part1-3: The long-living worshipper, (*Comparative Oriental Manuscript Studies Newsletter*, No.2-5, 2011-13) など

三野行徳 (みの ゆきのり)

国立歴史民俗博物館 客員准教授

「明治維新と武家の北海道移住 一有珠郡における新たな共同体形成―」(旅の文化研究所『旅の文化研究所研究報告』23号、2013年)、「多摩の自治体史編さんと地域の歴史意識」(関東近世史研究会『関東近世史研究』第81号、2018年) など

宮間純一 (みやま じゅんいち)

中央大学文学部 准教授

『国葬の成立 一明治国家と「功臣」の死―』(勉誠出版、2015年)、『戊辰内乱期の社会 一佐幕と勤王のあいだ―』(思文閣出版、2015年)、『天皇陵と近代 一地域の中の太友皇子伝説―』(平凡社、2018年) など

村井早苗 (むらい さなえ)

日本女子大学 名誉教授

『幕藩制成立とキリシタン禁制』(文献出版、1987年)、『キリシタン禁制の地域的展開』(岩田書院、2007年)、『天皇とキリシタン禁制』(雄山閣、2000年) など

湯上良 (ゆがみ りょう)

学習院大学人文科学研究so 客員所員

『禁書 一ゲーテンバルクから百科全書まで―』(単訳、法政大学出版局、2017年)、「非国有アーカイブズと公的保護 一イタリアにおける国家機関の創設―」(『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第13号、2017年)、*Il fondo Marega e i suoi scritti* (『Lucinis』ルチニーコ文化センター年報、第44号、2020年) など

バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ資料の 総合的研究

2022年2月28日 初版発行

編者 大友一雄・太田尚宏
発行 マレガ・プロジェクト（国文学研究資料館）
東京都立川市緑町10-3 〒190-0014
電話：050-5533-2900 (IP電話 代表)
<https://www.nijl.ac.jp/projects/marega/>
編集・制作 公益財団法人 角川文化振興財団
印刷所・製本所 凸版印刷株式会社
装幀 五十嵐 徹 (芦澤泰偉事務所)
DTP組版 星島正明

本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。
また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

© マレガ・プロジェクト 2022 Printed in Japan
ISBN978-4-87592-207-0